



3月 学校給食だより

櫛引学校給食センター
令和7年度 家庭用



1年間の振り返りをしよう!



いよいよ3月、今の学年で過ごす日も残りわずかとなりました。皆さんは、日々の給食からどんなことを学んできたのでしょうか？ この1年間の振り返り、できたことをチェックしてみましょう。



<p>給食の前に 手をきれいに洗えましたか?</p>	<p>食事のあいさつは 心を込めて言えましたか?</p>	<p>おはしを正しく使う ことができましたか?</p>
<p>よくかんで味わって 食べられましたか?</p>	<p>バランスの良い 食事のとり方がわかりましたか?</p>	<p>自分に必要な量 を考えて食べることができましたか?</p>
<p>地域でとれる食べ物を 知ることができましたか?</p>	<p>行事食や郷土料理 について知ることができましたか?</p>	<p>楽しい給食時間を 過ごせましたか?</p>

友達や先生方と過ごした給食時間は、学校生活のかけがえのない思い出の一つとなっていることでしょう。給食が届くまでにはたくさんの方が関わっていて、皆さんを大切に思う気持ちが詰まっています。これから先、困難にぶつかることがあったら、ぜひ給食のことを思い出してください。皆さんが元気で活躍できるように、いつまでも応援しています。



お忘れないうちに

明日で最後かあ...
給食のようせいさん
さびしいの
お別れするのがさびしいの
卒業だもんね
もうすぐ
でもね、わたしはあなたの元気を支えることができて幸せだったよ
これからはちゃんと食べて元気でいてね
Hug!!
給食のこと
お忘れないうちに!!
長い間ありがとう!!

ひな祭りのおはなし

毎年3月3日は、女の子の健やかな成長と幸せを願い、お祝いをする「ひな祭り」です。ひな人形や桃の花を飾り、さまざまな願いを込めた料理やお菓子をいただきます。季節の節目となる五節句（五節供）の一つ「上巳の節句」でもあり、季節の花にちなんで「桃の節句」とも呼ばれます。



ひな祭りの始まりは、平安時代までさかのぼります。古代中国から伝わった「上巳節」という厄払いの風習と、貴族の女の子たちの間で流行した人形遊びが結びつき、人形に災いを移して川に流す「流しびな」の風習が生まれました。その後、豪華なひな人形を飾るようになり、江戸時代には一般の人びとの間へも広がっていき、現代のようなひな祭りが行われるようになりました。

地元業者さんから提供していただいたあま酒を使用した手作りプリンが給食につきまます。



今月の地産地消情報

参考: 全国学校給食協会「学校給食」

鶴岡産	庄内産	県内産
ごはん (はえぬき・つや姫・雪若丸) みそ・小松菜・ほうれん草・わらび しいたけ・だだちゃ豆・りんご わらさ・いなだ・甘酒	牛乳・豚肉	大豆・豆腐 生揚げ・油揚げ マッシュルーム

★今月の地産地消ウィークは9日～13日です。



学校給食レシピ